

	学習指導要領	都立田園調布高校 学カスタンダード
(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察	「世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。」 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。 イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。	〔位置、方位、時差〕 - 地球儀や世界地図を活用して、東京の対蹠点の位置を理解するとともに、地軸の傾きによる季節変化や回帰線・極圏について理解する。 - 日付変更線やサマータイム制度について理解し、それらを含めた時差の計算ができる。 〔地球儀、世界地図〕 - メルカトル図法やミラー図法、正距方位図法、ホモロサイン図法などの図法の特徴を理解し、用途に応じて適切な図法を使用することができる。 〔日本の位置と領域〕 - 国境には自然的国境や人為的国境があることを理解する。また、日本固有の領土である北方領土問題と竹島、尖閣諸島の現状について歴史的経緯を踏まえて理解する。 〔国家間の結び付き〕 - 主題図と統計を活用して加工貿易や垂直・水平貿易、国際分業などについて理解する。 - 年次の異なる主題図や統計を活用して交通の発達による地域の変容や観光による国際的な人々の結び付きについて理解する。 〔自然環境と人間生活〕 - 狭まるプレート境界に地震や火山が多いことを、その構造とともに理解する。また、広がる境界は海底に多く分布するが、アイスランドなど一部は地上で見られることを知る。 - 扇状地では、扇頂・扇央・扇端それぞれの特徴を理解するとともに、氾濫原では三日月湖、自然堤防、後背湿地など付随する地形について知る。また、洪積台地の特徴と人間生活のかかわりについて理解する。 - 大気の大循環やモンスーンについて理解するとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活に

	学習指導要領	都立田園調布高校 学カスタンダード
(2) 生活圏の諸課題の地理的考察	ウ 地球的課題の地理的考察 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球の課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。 「生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。」	ついて理解する。 〔宗教、民族と人間生活〕 - 世界の多くの地域で宗教は日常生活深くに根ざしていることを理解するとともに、民族と言語、宗教との関連を理解する。また、歴史的背景から一部に民族問題や地域紛争が存在することを知る。 〔世界の諸地域の生活・文化と多様性〕 - 世界の諸地域の生活・文化について、諸資料を活用して、地形、気候をとらえるとともに、歴史的背景を踏まえて宗教、民族、農業、工業、商業、貿易、日本とのつながりなどと関連付けてとらえ、世界の多様性について理解する。 〔地球的課題と解決に向けた取組〕 - 様々な地球の課題について、それぞれの内容について世界的な視野から理解する。 - 地球の諸課題は、同じ原因であっても、自然環境や地域性の違いにより、地域によって現れ方が異なることを理解している。 - 地球の諸課題を解決する方向性について、その背景に南北問題が存在することを理解するとともに、地球の課題の解決に向けて、例えば日常生活において取り組むべき課題などを理解する。
	ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。	〔身の回りにある地図の収集と地形図の読図〕 - 市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を収集し、その特徴を理解する。 - 地形図において、縮尺を用いて実際の距離や等高線から任意の地点間の標高差を求めたり、尾根と谷を見分けてたりすることができる。土地利用と人間生活のかかわりを理解するとともに、同じ地域の新旧の地形図を比較することで、地域の変容を理解する。

	学習指導要領	都立田園調布高校 学カスタンダード
(2) 生 活 圏 の 諸 課 題 の 地 理 的 考 察	イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。 ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。	〔主題図の作成〕 ・土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップを活用することができる。地理情報システム（GIS）の活用例を理解する。 〔我が国の自然環境の特色と自然災害〕 ・我が国の地形、気候の特色と過去に発生した主な自然災害について理解するとともに、過去の自然災害への対応について土地利用、集落の位置や家屋の形状などから理解する。 〔自然災害と防災〕 ・生活圏の自然環境について理解し、ハザードマップを読み取り、防災意識を高める。 〔課題解決のための地域調査〕 ・地域調査の方法として直接現地で行う方法と学校の図書館などで文献や資料を利用する方法を理解する。 ・調査結果を、図表、地図などで表現する適切な方法を選択できる